

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2023～2024年度 国際ロータリー ゴードンR. マッキナリー 会長テーマ

CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 英樹
幹事 石川 泰隆
会報委員長 岡田 行永

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3226回例会プログラム

[当年度=24回目；当月=1週目]

2024年（令和6年）2月5日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:15 〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……………〈会長〉

3. 開会宣言

4. 国歌斉唱

5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想

6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

7. 会長挨拶並びに会長報告

8. お祝い

(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)

9. 幹事報告

10. 出席報告

11. 委員会報告

12. ニコニコボックス報告

13. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(2/12) ……休会(法定休日)

(2/17) ……

西三河分区分インターシティ・ミーティング(IM)

14:30～リリオコンサートホール及び

ホテルクラウンパレス知立

※2月19日(月)の例会変更分です。

2. クラブフォーラム……………〈司会：研修情報委員会〉

13:00 卓話「ロータリーの危機管理」

講師 地区危機管理委員会

委員長 大見 宏 様(安城RC)

(紹介者 鬼頭 一浩 会員)

14. 謝辞

15. 点鐘……………〈会長〉

16. 閉会宣言

13:30 17. 散会

ゲ ス ト



青少年交換学生 エマ・オリビア さん

出 席

会員総数 98名 出席免除 26名

出席義務者+免除者の内例会出席者 86名

欠席 6名 出席率 93.02%

前々回(1/22)の修正出席率 100%

会 長 報 告

1) RI ロータリー財団より、ポールハリスフェローのバッジが届いております。

4回目 鈴木文三郎 会員

2回目 太田 保 会員

2回目 中林 久美 会員

1回目 黒田 栄一 会員





幹事報告

- 1) 2月17日に西三河分区分インターシティ・ミーティング(IM)が知立リリオコンサートホール及びホテルクラウンパレス知立にて開催されます。受付開始は13時からとなっております。出席票の名札と資料が届きましたので、ボックスに入れさせて頂きました。名札は出席される方だけの配布となります。出席される会員は、当日お持ち頂くようお願い致します。
- 2) ローターフードフェスティバルのチラシと広告協賛予約申込書をボックスに入れさせて頂きました。
- 3) 米山記念奨学会と、日本ロータリー財団の寄付金の領収書をメールボックスに入れさせて頂きました。
- 4) 2月のロータリーレートは1ドル147円となりました。
- 5) 本日例会終了後に特別会議室にて、第8回の理事会を開催致します。関係の会員はご参加をよろしくお願い致します。

会長あいさつ

加藤 英樹



先週の1月27日に開催されました刈谷ロータリークラブ70周年記念事業「めざましテレビ30周年記念フェス in 愛知」にご参加頂きありがとうございました。皆様の想像を超えた大音量と観客が総立ちする異様な光景に驚かれたことと思います。申し訳ありませんでした。ただ、観客の皆様には刈谷に二

度と来ることのない「もいろクローバーZ」をあれだけ近い距離で見ることができたことは良かったと思っております。また、当日はポリオ根絶の募金活動もさせて頂きました。募金活動に当たっていただいたメンバーの皆様ありがとうございました。いろいろあったと思いますが協力いただいたメンバーの方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。

ここで翌々日めざましで放送されたビデオがありますので、ご覧ください。

さて2月は「平和構築と紛争予防月間」です。

世界で、平和構築や維持という点では「国連」という組織が有名です。その国連には、4つの目的があるようです。

- 1 世界の平和と安全を維持すること。
- 2 国家間の友好関係を育てること。
- 3 国際問題の解決と人権尊重の促進に協力すること。
- 4 各国の行動を調和させるために中心的役割を果たすこと。

だそうです。そして、こうした取り組みには30を超える関係機関が協力しているそうです。

国連は、世界の平和と社会の発展のために協力することを誓った独立国家が集まってできたユニークな機関だと言われています。

国連は、1945年10月24日に正式に発足しましたが、その時の加盟国(原加盟国)は51カ国。2008年末までに国連加盟国の数は192カ国に増えました。創設以来、国連から除名された加盟国はなく、インドネシアが1965年隣国マレーシアとの紛争を理由に一時国連から脱退しましたが、その翌年には国連に復帰しているようです。

平和のための国連の活動は、平和維持活動の成功で終わるわけではなく、紛争終結後も避難民や難民の故郷への帰還を助けたり、地雷を除去したり、道路や橋を補修したり、経済を復興させるための経済援助や技術援助を提供します。

それに対して、ロータリーは民間レベルの平和維持活動をしている団体だと思います。国連加盟国数と同じレベルの加盟国数で、世界には12万人の会員がいます。

特に紛争予防という点では、紛争が起こる原因と言われる「政治的な対立」「資源の配分」「民族・宗教の対立」「経済的な不平等」の中で「経済的な不平等」の点で活躍できることは多いと思われます。経済的不平等に伴う教育や医療の不平等などは特に活動しやすい部分だと思います。また、紛争予防には対話と協力が重要だと言われております。民間レベルでの対話や経済的協力はいざというときに役に立ちます。また、多様性を身に着けようとしている我々ロータリーは異なる意見や文化を尊重し、解決策を見つけるためのコミュニケーションの促進にも向いていると思います。紛争の芽を摘むという点でも我々ロータリーが活躍できる分野は多いと思います。今後も世界で何ができるかを考えながらロータリー活動を頑張りたいと思います。

今年度の記念事業として行ったタイの地方病院への医療機器の寄付も都市間の医療格差を解消し、チュムポー

ン周辺の方々のためになったものだと思います。

そして、本日は地区危機管理委員会の大見委員長の卓話です。

元旦早々能登で地震が起きるなど自然災害の多い国ですし、ハラスメントの問題も芸能界等を見ても身近な問題であり、昔は問題なかったという考え方では許されない世界になっているので、しっかり目合わせをしないといけない問題で、タイムリーな内容ですので楽しく真剣に拝聴したいと思います。

還暦のお祝い



池田 直樹 会員

お祝い

2月の会員の誕生日…盛田豊一、橋本恭典、中林久美、伊藤節夫、池田直樹、加藤大志朗、石川友美、佐野彰彦、岡本知樹会員。

配偶者の誕生日…野村弘子（重彦）、杉浦光子（芳一）、岡田敦子（行永）様。

2月度結婚記念日…橋典子、市川裕大、中川耕児会員。

2月度入会記念日…神谷光義、加藤真治、市川裕大、神野公秀、杉浦文雄、豊田貴久会員。

クラブフォーラム

卓話「ロータリーの危機管理について」

講師 第2760地区危機管理委員会
委員長 大見 宏 様



1 ロータリーの危機管理は、2004年大阪世界大会で、ロータリアンによる児童虐待、性的虐待の事実があったことが、ロータリーが組織として青少年を守る方策を持っていないことが指摘されたことが発端。

2 その後、RIにおいてロータリー活動における青少年保護が叫ばれ、地区危機管理計画の策定を強く推奨。RIとしてのハラスメント対応をまとめた。

3 2021年、RIはロータリーのDEI（DIVERSITY（多

様性）、EQUITY（公平さ）、INCLUSION（インクルージョン）へのコミットメントを公表。ロータリーの全ての活動における行動規範としてのDEIを推奨。

4 ハラスメントを防ぐ3原則。①性別による固定的役割意識で人を決めつけない、②やってはいけない身体の接触を避ける、③自分が「多様な性」の一人であることを知る。

5 このうち、「多様な性」の一人であることを知るにおいて大切なことは、性的少数者の存在を意識すること。LGBTの人は、日本の人口の約8.9%と言われている。SOGIハラの問題。男らしさ、女らしさに関する伝統的考え方からずれた人への侮辱。性的指向は異性愛に限らない。

6 これまでの裁判事例の紹介。府中青年の家事件、S社性同一性障害者解雇事件。

7 経産省事件。性自認は女性の性同一性障害の男性が、女性トイレの使用を認められなかった事例。最高裁は、違法と判断。

企業としては、個別の事情によりトランスジェンダー従業員と他の従業員の利益調整が必要。診断の有無、私生活の状況、性別適合手術の予定、他の従業員の反応調査、検証、対応の見直しの事実等が重要。アウティングに注意。

8 LGBT理解増進法の制定。

9 性同一性障害特例法違憲判決。

10 ロータリー活動におけるハラスメント遭遇場面について。